

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【田島小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目 標・策			
目 標			策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語の「知識・技能」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より3pt向上させる(同一集団の経年比較)。当該学年で習得する漢字を確実に習得させる。(自校テストで80%以上)	⇒	「ドリルパーク」や「スタディサプリ」等を活用しながら、日常的な漢字の指導を充実させるとともに、児童が家庭での学習を含め自主的・計画的に学習に取り組むよう支援する。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査自校結果より国語・算数において「思考・判断・表現」を昨年度の自校結果より3pt向上させる(同一集団の経年比較)。	⇒	読解力向上を目指して主に国語の授業の工夫・改善に努め、ICTを活用しながら、つなげたり比べたりして読む指導を増やす。また、全校児童に音読集を用意して、業前の音読タイムや国語の授業、家庭学習などで音読に取り組み、語彙や読書経験を増やす。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒	児童が主体的に課題解決に取り組んだり、友達と協力して学習したりする場を設定する。その際、Teamsやミライシード等を活用して、自分の考えを表現したり、友達と意見を交流したりする機会を増やす。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目 標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語－7pt、数学－2ptであった。国語の敬語についての問題で解答類型を見てみると、尊敬語・謙譲語の区別がついていない児童や、無解答の児童が多かった。
思考・判断・表現	国語の「読むこと」の領域において、複数の資料を結び付けて解答する問題では、一方の資料だけで解答を選択してしまっている児童の割合が多かった。国語を中心としての読解力を高める授業の工夫・改善を図るとともに、「つなげて読む」「比べて読む」「重ねて読む」といった活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は87%で目標値に達した。今後も、児童が主体となって学習を進める授業の工夫・改善に努める。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
目 標			策
知識・技能	変更なし	⇒	全国学力・学習状況調査の結果から、敬語の意味の理解に課題がみられたため、普段の生活の中で相手や場に応じた言葉遣いを意識させるとともに、尊敬語・謙譲語・丁寧語といった敬語のしくみについて理解を深める学習を進める。
思考・判断・表現	変更なし	⇒	校内研修を通して、読解力向上を目指した国語の授業を研究するとともに、児童が複数の文章や資料を読んで思考したり話し合ったりする経験を増やす。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし